国家公務員制度担当大臣と公務員労働組合連絡会とのやりとり（概要）

日 時 令和5年2月20日（月）17:20 ～ 17:30
場 所 合同庁舎8号館 共用会議室
出席者 先方）武藤議長 外8名
当方）河野国家公務員制度担当大臣 外3名
案 件 春闘期要求書の受取り

公務員連絡会

昨年の春闘で連合は、コロナ禍からの回復基調の下「平均で定昇込み2.07%」の賃金の引上げを勝ち取ったが、先頃厚生労働省が公表した昨年の実質賃金は前年比0.9%減であり、賃金引上げが物価上昇に追いついていない実態が明らかとなっている。このような中、私どもの調査でも組合員の生活への不満度が近年になく高まっており、特に「昨年に比べ生活が苦しくなった」と回答した組合員が大きく増加している。エネルギーや食料品などの価格の高騰は、公務員にも多大な影響を与えており、政府におかれては、全職員の積極的な賃金引上げの重要性について強く意識していただくよう、冒頭お願いしておく。

また、非常勤職員については、この間、両立支援策の適用拡大などが図られるとともに、大臣の強いリーダーシップの下、賃金においても常勤職員との均衡に向け改善が進みつつあると思う。その点に感謝を申し上げるとともに、更なる処遇改善に向けてご努力いただくことをお願いしておく。

他方、昨年の人事院勧告時の報告でも指摘のあった、国会対応業務が職員の長時間労働の大きな要因になっている点について、先頃内閣人事局が公表した実態調査結果を見ても、残念ながら改善の兆しが見られていない。国会対応は、霞が関のみならず、内容によっては地方に勤務する職員にも影響を与えるものであり、私どもとしても看過するわけにはいかない。

このため、私どもは今月から来月にかけて、野党を中心に国会審議への対応について、超過勤務時間の縮減に向け協力すること、特に質問通告時間については、この間の国会における申し合わせ等を踏まえ「前々日の正午までの質問通告」を再度徹底することなどを申し入れる予定であることをご報告しておきたい。

最後に、これから、事務レベルでの交渉を積み重ね、最終回答の際には、河野大臣から、直接、春の段階の誠意ある回答を求め、要求提出に当たっての発言とする。

国家公務員制度担当大臣

公務員の方々が国民全体のために献身的に職務に当たられていることに対し、敬意を表する。

ただ今、要求書を受け取り、要旨は承った。要求事項については、検討の上、しかるべき時期に回答させていただく。

優秀な人材の確保のために長時間労働を是正し、国家公務員の働き方改革を実現するため、様々な取組を進めている。

先月公表した国会対応業務に関する実態調査の結果、依然として国会対応業務に時間

を要している実態が明らかとなった。国会に対しては、質問通告の早期化に引き続きご協力をお願いするとともに、政府側として、国会対応業務の効率化を進めていく。

皆様からも関係各方面に対して、質問通告の早期化を働きかけていただけるとのこと
で、大変心強く思う。様々な取組について、引き続き、現場の実情を含め、皆様からも
ご提案をいただきながら、前に進めるのでご協力をお願いしたい。

公務員連絡会

よろしく願います。

－ 以 上 －

文責：内閣官房内閣人事局（先方の発言については未確認）